

編集後記

2021年の秋から年末にかけて、コロナというキーワードが少し薄れていき、大型テーマパークやスポーツ観戦、家族旅行、帰省などの話題が報道され、ワクチン接種の効果によりコロナ蔓延前の日常を取り戻したように感じておりました。しかしながら、2022年の年明けから新型コロナウイルスのオミクロン株が世界的に猛威を振り、ワクチン接種をしていても感染するなどの報道を目にすると恐怖で前向きな気持ちなれない日々となりました。日本国内に目を向けてみてもコロナ感染者数が爆発的に増え、連日のニュースの報道では今までと桁違いの感染者数が読み上げられ、街からは人が減り、まだまだコロナとの闘いは続きそうだと再認識したところです。

このコロナ禍の暗いニュースを吹き飛ばして、前向きな気持ちにしてくれたのが北京五輪での日本人選手の活躍です。冬期のスポーツ競技は欧州が本場であり、体格や環境に恵まれない日本人が世界の選手達と互角に競っている姿の裏には相当な努力があり、重圧も計りしれないものであると思いま

す。だからこそ、選手の笑顔や悔し涙に共感する事が出来るのだと思います。スポーツは人々に力を与えてくれます。昨年の夏に開催した東京2020五輪時の日本人選手の大活躍は記録にあたりし所であります。この時もコロナの感染者の増加で暗くなっていた世の中を明るくしてくれました。人は前向きに何度も立ち上がれるのだと教えて頂きました。

さて、今回の特集は「管内からの調査・探査・診断技術」となります。地中に埋設されている管内の状況をどのようにして調査・診断を行っていくのかは、非開削技術の中でも重要な部分となります。この技術に携さわる方々のいろいろな挑戦から出てきた技術ですので、本特集をぜひお役立てください。

最後に119号の編集にあたり関わっていただいた皆さま、ご多忙中にもかかわらずご執筆いただきました皆様に厚く御礼申しあげます。今後とも、本誌により、技術開発はもとより、各社の技術・技能の継承にも寄与していければ幸いです。

〈本誌編集委員 村上貴之〉

○機関誌編集委員会

□特別顧問

▶森田 弘昭
(一社)日本非開削技術協会会長

□委員長

▶尾崎 正明
(株)G&U 技術研究センター代表取締役

□委員

▶浅井 岳春
オリジナル設計(株)水インフラ本部下水道部技術1課

▶植木 貴幸
(株)奥村組営業本部営業戦略部管理課長

▶小川 仁
芦森工業(株)機能製品事業本部バルテム統括部バルテム営業部長

▶越智 茂
管清工業(株)管理本部広報課長

▶小原 信次
(公財)水道技術研究センター管路技術部長

▶河西 一嘉
エクシオグループ(株)土木事業本部土木営業部門課長代理

▶黒田 博之
大和技建(株)関東支店支店長

▶鈴木 敬一
川崎地質(株)事業企画部課長

▶津野 和宏
国土館大理工学部理工学系学系教授

▶中川 喜夫
中川ヒューマン管工業(株)取締役執行役員戦略推進室長

▶長島 隆幸
(株)水コンサルタント執行役員東日本事業本部副事業部長兼東京支社社長

▶西本 和弘
NTTインフラネットワーク設備本部設備マネジメント部アーバンデザインセンタ技術担当課長

▶橋本 好弘
積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部部長

▶村上 貴之
東京電力パワーグリッド(株)工務部流通土木グループ運営チームリーダー

▶森 治郎
アイレック技建(株)非開削推進事業本部営業部長兼第一技術部長兼務

○編集スタッフ

事務局長：金子 謙二
編集：赤坂 誠・大屋 健
古川 みずき

環境にやさしい

非開削技術

季刊

No.119 2022 Apr. 令和4年4月1日発行

編集：「非開削技術」編集委員会

発行所：一般社団法人 日本非開削技術協会

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18

リードシー門前仲町ビル3階

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

E-mail: office@jstt.jp

https://www.jstt.jp/

発行人：森田弘昭

印刷所：株式会社LSプランニング



● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,650円(本体1,500円)〒400円

1ヵ年(4冊)6,600円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇技術記事

非開削に関連する技術、製品についての技術記事を募集しています。

投稿技術記事は委員会で選考の上、掲載技術記事には本誌規定の原稿料をお支払いすると共に「非開削技術報告表彰」の候補としてノミネートされます。

◇情報のご提供について

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2022 Printed in Japan / ISSN 2435-841X

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。